

まち・ひと・しごと創生総合戦略における 3つの重点プロジェクト

1 光輝く若者



本町に住む若者や進学・就職を契機に町外へ転出した若者、地方で働きたい、暮らしたいと考えている若者が、夢や希望を持ってチャレンジ、活躍できる環境の整備に取り組みます。

2 女性応援



若者同様、女性にとっても魅力的な働き場は重要な要素であり、起業・創業に対する支援や新たな企業誘致を通じて、働く環境の整備に取り組みます。

3 元気な地域



町民が主体的に新たな取り組み、課題解決などを進めるため、地域に対する愛着と誇りを醸成し、すべての人が活躍できる環境の整備、安定した労働力の確保に取り組みます。

第十一次金ケ崎町総合計画における 4つの基本目標

快適で安全・安心な暮らしと環境にやさしいまち



▶町道の改良整備と舗装および橋梁の長寿命化▶国道4号金ケ崎拡幅の事業促進▶除雪体制の充実▶自主防災組織の体制づくり▶二酸化炭素排出量抑制に関する取り組みなど

いきいきと健やかに暮らせるまち



▶新型コロナワクチン接種に向けた体制整備▶地域福祉を担う人材育成や地域環境づくりの推進▶待機児童の解消▶ICT技術を活用したりリモート型介護予防教室への取り組みなど

産業の振興で活力あるまち



▶農福連携の促進に向けた取り組み▶自動車・半導体関連産業への規模拡大等の支援▶流通業・IT関連企業誘致▶新型コロナ対策における事業者への経営支援や経済対策など

未来へつなげる豊かな心を育てるまち



▶地域の特色を生かした幼児期教育の推進▶プログラミング・ICT教育の推進▶各年代の学習ニーズに応じた生涯教育推進体制の整備や、多様な価値観を育む学習機会の創出など



令和3年度 金ケ崎町 施政方針

3月議会定例議会で高橋町長が示した本年度の施政方針の概要を紹介します。

町は、4月1日、町民いこいの広場のソメイヨシノを金ケ崎町桜の標本木に選定し、4月6日に開花宣言を行いました。

金ケ崎町の重点プロジェクト

- 1 「光輝く若者プロジェクト」
- 2 「女性応援プロジェクト」
- 3 「元気な地域プロジェクト」



全文はこちら
(町ホームページ)

新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」という)拡大により、長引く自粛生活や社会・経済活動へ大きな影響が出ているなか、昨年末の大雪で農業用施設等に大きな被害が発生しました。大雪被害にあわれた皆さんにお見舞い申し上げます。復旧に向け、国、県、関係機関と協力し、営農が継続できるよう全力で支援します。

また、新型コロナについては、皆さんの徹底した感染予防対策により、今日を迎えていることに感謝申し上げます。今後、継続するようお願いいたします。

今後は、ワクチン接種に向け、滞りなく準備を進め、スムーズに実施できるよう努めます。

さらに、新型コロナの感染リスクを軽減させるため、ウェブでの会議・セミナー等、デジタル技術の活用が重要となってきたことから、その環境整備のために念願の光ファイバーを全町にわたって整備し、デジタル社会に対応できるまちづくりを進めます。

本年度から始まる第十一次金ケ崎町総合計画は、さきの第十次総合発展計画を引き継ぎながらも、「持続力のあるまち」を構築するため、豊かな自然を生かし、地域コミュニティの再生と人のつながりを大事にし、産業・教育・福祉のほか、行政経営等において、「時代の変化」に対応し、住民ニーズに応えるべく、持続可能な未来都市を目指した計画です。

併せて、人口減少下での行政サービス「公助」には限りがあります。これまで以上に、自ら行動する「自助」、家族、親せき、近隣住民などによる「互助」が盛り上がるよう努めながら、町民主役のまちづくりを推進していきます。

また、政策の効果的展開を図るため、各政策に横断的な視点を持ち、「施策の方針」「目標指標」「住民等に期待される取組」「行政の役割」を踏まえた施策推進を図ります。

さらに、人口減少対策を「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略」として定め、若者、女性、地域の3つの柱に重点的に取り組みます。

これらの施策推進のため、令和3年度当初予算を、一般会計87億3,955万5千円、特別企業会計57億4,527万6千円、総額144億4,408万1千円としました。

新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」という)拡大により、長引く自粛生活や社会・経済活動へ大きな影響が出ているなか、昨年末の大雪で農業用施設等に大きな被害が発生しました。大雪被害にあわれた皆さんにお見舞い申し上げます。復旧に向け、国、県、関係機関と協力し、営農が継続できるよう全力で支援します。

また、新型コロナについては、皆さんの徹底した感染予防対策により、今日を迎えていることに感謝申し上げます。今後、継続するようお願いいたします。

今後は、ワクチン接種に向け、滞りなく準備を進め、スムーズに実施できるよう努めます。

さらに、新型コロナの感染リスクを軽減させるため、ウェブでの会議・セミナー等、デジタル技術の活用が重要となってきたことから、その環境整備のために念願の光ファイバーを全町にわたって整備し、デジタル社会に対応できるまちづくりを進めます。

本年度から始まる第十一次金ケ崎町総合計画は、さきの第十次総合発展計画を引き継ぎながらも、「持続力のあるまち」を構築するため、豊かな自然を生かし、地域コミュニティの再生と人のつながりを大事にし、産業・教育・福祉のほか、行政経営等において、「時代の変化」に対応し、住民ニーズに応えるべく、持続可能な未来都市を目指した計画です。

併せて、人口減少下での行政サービス「公助」には限りがあります。これまで以上に、自ら行動する「自助」、家族、親せき、近隣住民などによる「互助」が盛り上がるよう努めながら、町民主役のまちづくりを推進していきます。

また、政策の効果的展開を図るため、各政策に横断的な視点を持ち、「施策の方針」「目標指標」「住民等に期待される取組」「行政の役割」を踏まえた施策推進を図ります。

さらに、人口減少対策を「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略」として定め、若者、女性、地域の3つの柱に重点的に取り組みます。

これらの施策推進のため、令和3年度当初予算を、一般会計87億3,955万5千円、特別企業会計57億4,527万6千円、総額144億4,408万1千円としました。